

平成25年度「重点研究費」研究成果報告書

研究課題	ベトナム国立自然史博物館（Vietnam National Museum of Nature）とのアリ類データベース構築のための共同研究
------	--

研究代表者

氏名 高森 久樹	所属 理科教員高度支援センター	職名 准教授
-------------	--------------------	-----------

研究分担者

氏名	所属	職名

【研究成果の概要】（文字の大きさ9ポイント・字数800字～1600字程度）

平成25年3月にベトナムを訪問し、東京学芸大学理科教員高度支援センターの国外の理科教育関係者向け研修事業についてベトナム国立自然史博物館（Vietnam National Museum of Nature）のDr. Bui Tuan Viet 研究員に紹介したところ、初年度はDr. Bui Tuan Viet 研究員が、アリを中心とした昆虫のデータベース構築のための走査型電子顕微鏡とデジタルカメラを用いた標本写真の撮影と画像処理を学びたいとのことで、共同でこのテーマに取り組むことで合意した。

12月11日（水）にDr. Bui Tuan Viet 研究員が東京学芸大学へ訪れ、当日午後に行われた理科教員高度支援センター主催 理科教育特別講演会に出席した。その後、小金井クラブに宿泊した。

12月12日（木）より自然科学系棟CS101室にて卓上電子顕微鏡TM3030に関する研修を行ったが、その過程で、アリの標本は虫ピンに留めた小さな紙に接着されているため、走査型電子顕微鏡の資料室に入れて撮影することが困難であることがわかった。そこで、12月13日（金）より、自然科学系棟N214室において、顕微鏡にデジタルカメラ（ニコンD7100）を取り付けて焦点位置を少しずつ変えながら多くの写真を撮影し、ノートパソコン（レノボ593965256）に取り込んだ画像をPhotoshop CS6 期間限定版を用いて焦点合成を行う方法でアリ標本の画像化を行うこととした。

12月23日（月）までの間、ベトナム産アリ類の写真撮影ならびに焦点合成による長被写界深度写真合成を行った。その結果、ベトナム産 *Pristomyrmex* 属の13種の未記載種を中心に長被写界深度写真を得ることができた。

12月24日（火）にDr. Bui Tuan Viet 研究員は成田空港よりベトナムへ帰国した。

その後、E-mailでやりとりをしながらベトナム産アリ類データベース公開のための準備を行っている。アリ類データベースが完成しインターネットで公開できれば、東南アジアのアリ分類同定におおいに役立ち、アリの進化に関する基礎研究のほか農業などの応用分野で広く利用されることが期待できる。しかしながら、今回撮影した写真だけでは種数が不足しているため、今後さらに多くのベトナム産アリ類について画像データを増やして行く必要がある。

また、今回の共同研究を足がかりとしてベトナム国立自然史博物館との間で他分野への交流の拡大を行って行きたいと考えている。さらに、今回はベトナム国立自然史博物館との共同研究であるが、今後、ベトナムの他の教育機関との交流へと拡大して行きたいと考えている。

研究成果発表方法

[発表論文名（口頭発表を含む）、氏名、学会誌等名（投稿中・投稿予定・執筆中）を記入する。]

※本経費を用いて、報告書（冊子等）を作成した場合には、本様式とともに1部を提出すること。

なお、提出された報告書は教育実践研究推進本部を通じて附属図書館へ寄贈する。

Revision of Asian species of the *Drosophila melanica* species group (Diptera: Drosophilidae), with a description of a new species from Vietnam. Awit Suwito, Masanori J. Toda, Hisaki Takamori, Kaori Harada and Hideaki Watabe. Entomological Science, 17 175-85, 2014.